資料№.１	経済建設常任委員会所管事務報告資料 令和８年１０月７日【経済部商工労働課】

ローカル１００００プロジェクトについて

１．ローカル１００００プロジェクトについて

地域経済循環創造事業交付金（総務省）

＝地域金融機関と連携し、民間事業による地域課題の解決と地域経済循環を後押しする制度

＜要点＞①市が事業者の初期投資を補助し、国が市の補助額の原則 1/2 を負担。
②通常の設備投資補助ではなく、「公共的な地域課題の解決」「高い新規性・モデル性」が必要。

(1) 制度の仕組み

民間事業者等	総務省	市（交付対象）
初期投資を実施 ＋金融機関等から融資	市へ交付金 【国費：原則１／２】	国からの交付金と合わせて事業者へ補助 ＋事業調整・審査

金融機関等の融資額等≧公費による助成額

(2) 対象となる事業・経費

- 地域密着型～市・地域金融機関等と連携し、地域の資源と資金を活用する事業
- 地域課題対応～本来、市が直接解決・支援すべき公共的な地域課題への対応を代替する事業
- 新規性、モデル性～同様の課題を抱える他自治体への横展開が期待できる先進的な事業
- 対象経費～施設整備費、機械装置費、備品費、地域の大学による調査研究費（用地取得費・運営経費は対象外）

(3) 支援イメージ（例）

対象となる初期投資	金融機関等からの融資	市からの補助
４，０００万円	２，０００万円	２，０００万円 内訳：国１，０００万円、市１，０００万円

(4) 活用に向けて本市が整備する事項

- 補助制度～市から事業者へ交付する補助金の要綱・様式を整備
- 審査、選定～地域課題への対応、事業の新規性・モデル性、継続性・収益性等を確認する審査体制を整備
- 予算措置～国の採択・交付決定を前提として、市補助金及び財源を予算化

２．制度活用予定事業の背景・目的

本市は「花のまち」ブランドや豊富な農産物、教育機関、商店会など多様な地域資源を持つ一方、市内企業間取引の減少、企業間マッチング機会の不足、空き店舗の発生、地域産品の販路開拓不足という地域課題を抱えております。

地域資源を副原料に活かせる「クラフトビールを媒体」に「地域共創拠点を整備」する事業を地域課題への対応策として実施することを目的に、ローカル１００００プロジェクトの申請を行うこととなりました。

(1)　実施主体

ENIWA BREWING 合同会社（恵庭市恵み野西１丁目２６番６）

(2)　事業内容案

拠点整備	恵み野商店会の空きテナントを改修。 ①自社ビールの製造・販売　②共同商品開発　③異業種交流　④観光交流を一体的に展開。
初期投資	300L タンク２基・150L タンク２基等を導入し、年間最大 18,000L を製造。
販売チャネル	タップルーム直販／市内飲食店への樽卸／缶販売・イベント／企業向け OEM（＊）
商品開発	地域農産物・食品と組み合わせた「恵庭ペアリング商品」をふるさと納税・観光土産等へ展開。

※本事業の実施に当たっては、「恵み野商店会」から推薦書が提出されております。

（＊）OEM～他社ブランドの製品を製造すること。

(3)　解決したい地域課題

地域課題（※）	本事業による解決策
市内企業間取引の減少（域内経済循環の縮小）	副原料として地域農産物等を調達・OEM・共同商品開発
企業間連携・マッチング機会の不足	商談・交流・商品発表の場を常設
空き店舗の発生	恵み野商店会の空きテナントを拠点として再生
地域産品のブランド化・販路開拓の不足	ビール・ペアリング商品・返礼品・観光土産等へ展開
観光・スポーツによる交流人口の消費波及不足	ファーム観戦・観光と市内飲食店等をつなぐ回遊企画

※第３期恵庭市中小企業振興基本計画を参照

３．当面の取り組み

・総務省へ事前相談

・令和８年第４回定例会に補正予算を提案予定

・総務省へ制度活用の申請